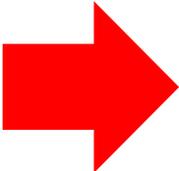


法務省が取り組む法教育の主な内容

法教育の主な内容

- ① 法やルールの意義・役割， より良いルールの作り方
- ② 契約自由の原則など私法的基本的な考え方
- ③ 個人の尊重， 自由， 平等などといった法の基礎となっている基本的な価値
- ④ 司法の役割や裁判の特質



日常生活における身近な問題を題材とし，
児童・生徒の成長， 発達に応じた，
小・中・高等学校を通じた教育

法教育教材

小学生向け 冊子教材

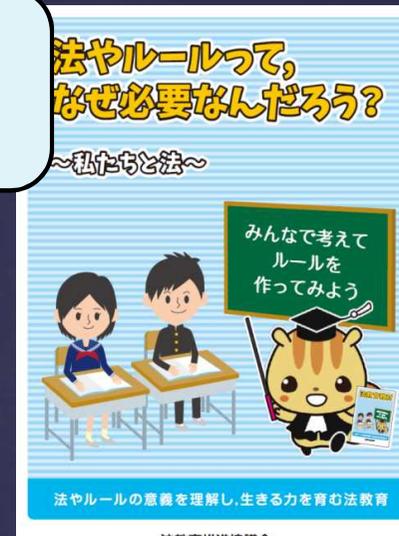
H25年度
作成



法務省ホームページから
ダウンロード可能

中学生向け 冊子教材

H26年度
作成



法務省ホームページから
ダウンロード可能

小・中学生向け 視聴覚教材

H30年度
作成



YouTube法務省
チャンネルで視聴可能

高校生向け 冊子教材

H30年度
作成



法務省ホームページから
ダウンロード可能

法教育推進協議会作成

法教育教材

のポイント

- ① 法学と教育現場・教育学の双方から内容を監修
- ② 指導案ごとに学習指導要領上の位置付けや指導計画案を記載し、ワークシートなども整備
- ③ 視聴覚教材では、ホウリス君がポイントを解説

法教育推進協議会作成

法教育教材

のポイント

① 法学と教育現場・教育学の
双方から内容を監修

→分かりやすく, かつ, 正確な説明

法教育推進協議会作成

法教育教材

のポイント

- ② 指導案ごとに学習指導要領上の位置付けや指導計画案を記載し、ワークシートも整備
 - 具体的な授業イメージをつかみやすい
 - 加工可能なワークシート等のデータあり
(添付のDVDに格納，法務省HPにも掲載)

法教育推進協議会作成

法教育教材

のポイント

③ 視聴覚教材では、ホウリス君 がポイントを解説

→ 法的な説明も、ホウリス君が
アニメーションで解説

→ 視覚的説明により、理解が深まる



小学生向け冊子教材の題材一覧



	題材	想定教科等	概要
小学校3・4年生向け	友だち同士のけんかとその解決	特別活動「学級活動」	借りた本を汚してしまいけんかになったという事例を通じて、当事者間の交渉や第三者を交えた調停について考え、紛争を解決するために必要な態度や心構えを理解する。
	約束をすること、守ること	特別活動「学級活動」	ゲームの貸し借りをめぐるトラブルの事例を通じて、約束をすること、守ることの意義を理解する。
小学校5・6年生向け	もめごとの解決 — 国民の司法参加・ルールづくり —	社会科 総合的な学習の時間 特別活動「学級活動」	掃除をさぼったかどうかというもめごとの事例を通じて、事実を正確に把握して評価し、事実に基づいて公正に判断することの大切さを理解する。
	情報化社会における表現の自由と知る権利 — 情報の受け手・送り手として —	社会科	SNSやインターネットを題材とした事例を通じて、表現の自由や知る権利の意義、プライバシー権を理解する。

小学生向け視聴覚教材の題材一覧

小学生向け Disc1

題材1 けんかの解決方法を考えよう! (約19分)

借りた本を汚してしまいけんかになったという事例を通じて、当事者間の交渉や第三者を交えた調停について考え、紛争を解決するために必要な態度や心構えを理解する。



題材2 約束って何だろう? (約13分)

ゲームの貸し借りをめぐる問題を通じて、約束をすること、守ることの意義を理解する。



題材3 本当のことって何だろう? (約17分)

掃除をさぼったかどうかという学校生活における身近なもめごとの事例を通じて、事実を正確に把握して評価し、事実に基づいて公正に判断することの大切さを理解する。



題材4 きめきめ王国 (約16分)

王様が許可したテレビ番組や新聞記事以外は流してはいけないという架空の国「きめきめ王国」で発生する問題を通じて、表現の自由や知る権利の意義を理解する。



題材5 書き込む前に考えよう! (約13分)

SNSやインターネットを利用して情報を発信する際に、どのようなことに気を付けなければならないかを考え、表現の自由やプライバシー権を理解する。



小学生向け視聴覚教材

冊子教材P61, 62（もめごとの解決）に関連

本当のことって何だろう？



YouTube
法務省
チャンネル
で視聴
できます



<http://www.youtube.com/MOJchannel>

中学生向け冊子教材の題材一覧



題材		想定教科等	概要
ルールづくり	ごみ収集に関するルールを作ろう	社会科	ごみ収集所等をめぐる身近なトラブルについて考え、生徒がその解決策としてルールづくりを体験することを通じて、法やルールを守ることの大切さを理解する。
	マンションのルールを作ろう	社会科	
私法と消費者保護		社会科 技術・家庭科	身近な買い物の事例を通じて、私法の基本的な原理である「契約自由の原則」とその修正原理である「消費者保護」を学び、契約を締結する際には慎重になるべきことや、公正という法の価値を理解する。
憲法の意義		社会科	学級会における多数決等の身近な事例を通じて、「みんなで決めるべきこと」と「みんなで決めてはならないこと」について考え、憲法が、国民主権、基本的人権の尊重、三権分立の3つを定めていることを理解する。
司法		社会科	交通事故に関する民事裁判や電車における傷害事件の事例を通じて、裁判に関わる人々の役割について考え、法に基づく公正な裁判の仕組みや機能について理解する。

中学生向け視聴覚教材の題材一覧

中学生向け Disc2

題材1 ルールづくり

(約15分)

架空の町で起きたごみ収集場所をめぐる問題について考え、生徒がその解決策としてルールづくりを体験することを通して、法やルールを守ることの大切さを理解する。



題材2 私法と消費者保護

(約22分)

身近な買い物事例を通じて、私法の基本的な原理である「契約自由の原則」とその修正原理である「消費者保護」を学び、契約を締結する際には慎重になるべきことや、公正という法の価値を理解する。



題材3 私たちの暮らしと憲法

(約24分)

架空の国における政治の在り方の事例や学級会における多数決などの身近な事例を通じて、「みんなで決めるべきこと」と「みんなで決めてはならないこと」について考え、憲法が国民主権、基本的人権の尊重、三権分立の3つを定めていることを理解する。



題材4 司法

(約21分)

交通事故に関する民事裁判の事例を通じて、被害者・加害者の立場に立って主張を考えたり、裁判官の立場に立って判決内容を考えたりすることにより、法に基づく公正な裁判の仕組みや機能について理解する。



中学生向け視聴覚教材

冊子教材P50～54に関連

契約とは何だろう

YouTube
法務省
チャンネル
で視聴
できます



<http://www.youtube.com/MOJchannel>

高校生向け冊子教材の題材一覧①



題材		概要
ルールづくり (想定教科はいずれも公民科)	合意形成を図ろう ～どこに橋を作るべきか～	架空の島から本土への橋をどこに作るべきかという課題解決を通じて、多様な意見・利害を公平・公正に調整して合意形成を図ることが、協働の利益を継続して確保するために大切なことを理解する。
	新たなルールを考えよう ～ルールのない村～	架空の「ルールのない村」で発生した問題の解決を通じて、どのような手順でルールを作成すればよいか、作成したルールをどのような視点で評価すればよいかについて考え、理解する。
	海水浴場の利用ルールを作ろう	海水浴客の増加に伴う様々な問題を解決するために制定する条例の内容の検討を通じて、どのような手順でルールを作成すればよいか、作成したルールをどのような視点で評価すればよいかについて考え、理解する。
	大学入試のアフーマティブ・アクションについて考えよう	架空の国における経済格差解消のための大学入試制度(優遇措置)の是非を検討することを通じて、作成したルールをどのような視点で評価すればよいかについて考え、理解する。

高校生向け冊子教材の題材一覧②



題材		概要
私法と契約	契約とは何か	契約トラブルにおける契約解消の可否を検討することを通じて、私法の基本的な考え方である私的自治の原則や、契約に関する基本的な考え方について理解する。
紛争解決・司法	民事紛争解決① ～民事裁判・けがの責任をめぐって～	裁判や和解などの紛争解決手続過程の模擬体験を通じて、第三者の立場で当事者の言い分を公平に理解し、争点を整理して、法に基づいて紛争を解決する力を養うとともに、司法の意義・役割、民事裁判の特徴について理解する。
	民事紛争解決② ～模擬調停・臭いをめぐる争い～	調停による紛争解決手続過程の模擬体験を通じて、第三者の立場で当事者の言い分を公平に理解し、争点を整理して、法に基づいて紛争を解決する力を養うとともに、司法の意義・役割について理解する。
	刑事模擬裁判 ～被告人は「犯人」なのか～	証拠から認定できる事実の評価や論理的に有罪、無罪の結論を導き出すという刑事裁判手続の模擬体験を通じて、刑事裁判の特徴について理解する。

想定教科は
いずれも
公民科

高校生向け冊子教材

「海水浴場の利用ルールを作ろう」(p26~33)



高校生向け冊子教材 「海水浴場の利用ルールを作ろう」 (p26~33)

主な問題

〈ハウリス町の産業について〉

夏の観光業がほぼ唯一の産業であり、観光客の減少、つまり、この期間の収入の減少は、多くの町民の死活問題に直結する。

〈騒音について〉

海の家が大きな音楽をかけたり、海水浴客が深夜まで大声で騒いだりして、騒音が問題となっている。

〈飲酒・喫煙について〉

飲酒した海水浴客が騒いだり、ビーチで喫煙していたりするため、悪評が立ち、家族連れの海水浴客が減少している。

〈水上バイクについて〉

水上バイクが海水浴場内やサンゴ礁の上を自由に通行しているため、泳いでいる海水浴客やサンゴ礁を見るためにダイビングをしている人との接触事故が起きた場合、重大事故になりかねない。

〈ごみについて〉

海水浴客によって大量のごみが浜辺に置き去りにされるなど、環境が悪化している（現在は町がごみの処理費用を負担しているが、通常のごみ収集車だけでは、回収ができないほどになってきている。このままの状態が続けば、ごみ処理のための税金投入を増やさなければならず、結果として、他の行政サービス（学校の改修など）の停滞を招いてしまう。）。
ごみによる自然破壊（砂浜のごみによる海の汚れやサンゴ礁へのダメージ）も問題となっている。



住民

一部の海水浴客や海を家の行動には本当に迷惑している。しかし、あまり厳しいルールを作ってしまうと客離れにつながり、町が衰退してしまうのも問題だ。



事業者（海の家）

大きな問題は7～9月の3か月間だけなのだし、海水浴客のおかげでこの町は潤っているのだから、少しくらいの問題は受け入れるべきだ。仮にルールを作るのであれば、海水浴客のことを一番に考えたものにするべきではないか。



海水浴客（独身者層）

日常から解放されるために来ているのだから、観光地に来てまで厳しいルールに縛られたくない。



海水浴客（ファミリー層）

泊まりがけて来たりするのだから、子どもと一緒に夜に花火などをして楽しみたい。しかし、あまり治安が良くないようなら、来年からは違う海水浴場にしようかな。



ホテル、旅館

夏は一番繁盛する季節なので、利用客が減少すれば、経営が成り立たなくなってしまう。

利害関係者の主張



法教育教材を用いた実践的授業

モデル授業例の公開

法教育教材の学校現場における具体的な活用事例を，モデル授業例としてまとめ，法務省HPで公開

<主な内容>

- 実施校，実施学年，実施教科等
- 単元の目標，学習指導要領上の位置付け
- 本時の目標，展開，指導上の留意点
- 成果と課題（生徒の声など）

高校生向け法教育リーフレット

対象

成年に達する年齢を間近に控えた高校生

内容

契約を題材として、私法の基本的な考え方を伝えるとともに、権利・義務の主体として能動的に行動することの意義や法的なものの考え方を学ぶためのリーフレット

参考URL(法務省HP)

http://www.moj.go.jp/housei/shihouseido/houkyouiku_koukouseimukeleaflet.html



ご静聴ありがとうございました。



法教育に関するご質問, ご相談は,
下記までご連絡ください。

法教育に関する
お問合せ先

法務省 大臣官房司法法制部
司法法制課 司法制度第二係

TEL : 03-3580-4111 (内線2362)
Email : houkyouiku@i.moj.go.jp

<法務省ホームページ 法教育ページ>

 <http://www.moj.go.jp/housei/shihouhousei/index2.html>